

本格的な冬に向けて暖房器具の再確認を！

今年も寒くなり暖房器具の使用が多くなる時期になりました。深川地区消防組合管内において、ストーブによる火災は過去5年間で6件発生しており、1年間に約1件のストーブ火災が発生しています。ちょっとした不注意や誤った使用方法が原因で大きな火災へとつながりますので、防火対策をしっかりと行い火災を防ぎましょう。

～暖房器具から火災を防ぐチェックポイント～

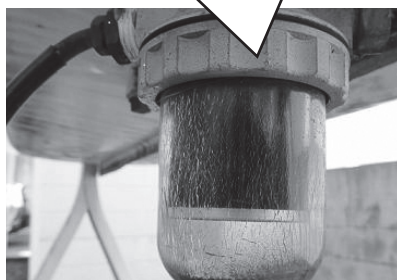


- 周囲にエアゾール缶（スプレー缶など）等を置かない。
- 寝具類・カーテンなどの近くで暖房器具を使用しない。
※電気ストーブでも周囲に可燃物を置いていると加熱され火災のもとになります。
- ストーブの上で洗濯物を乾かさない。
- ポータブルストーブの移動や給油をするときは、必ず火を消し誤給油に注意する。
- 点検整備を行う。（専門業者に依頼してください。）

雪が積もる前にホームタンクの再点検を！

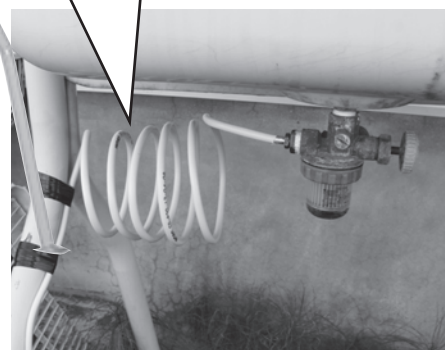
毎年、雪解け後の春先にかけてホームタンクから灯油の漏えい事故が発生しております。灯油が漏えいしてしまうと、土壌や地下水の汚染、下水道管に染みこんでしまうことにより川や田んぼ、農業用水にまで被害が及ぶ可能性があります。常日頃から下記項目の点検を行うことを進めます。

□ ストレーナーにヒビや沈殿物はたまっていますか？



□ 灯油の減りが以異常に早くなっていますか？

□ 配管に腐食や亀裂はありませんか？



□ ホームタンクが傾いていませんか？

□ 灯油の匂いはしませんか？

上記に異常があれば専門業者に連絡し、修理してもらいましょう！

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

沼田町
防火標語

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

